

大田

清掃工場 鉄分貯留排出クレーンで鉄を運びます

大田工場にある京浜島不燃ごみ処理センターでは、不燃ごみ中から鉄分を資源として回収しています。回収された鉄は、一辺の長さが約60cm、一個当たりの重さが約350kgのブロック状にプレスされ、2基ある鉄分貯留搬出クレーンで運ばれます。クレーンの先にリフティングマグネットという電磁石があり、電流が流れると磁力が発生して鉄を吸着し、一度に約2tの鉄を運ぶことができます。



鉄分貯留搬出クレーン

多摩川

清掃工場 大田工場と共催で清掃工場展を開催しました

大田工場と共催で、2月5日から9日まで大田区役所1階ロビーにて清掃工場展を開催しました。この清掃工場展は、平成16年度から実施しており、今回で3回目になりました。清掃工場を皆さんに知ってもらうきっかけになればと開催しています。

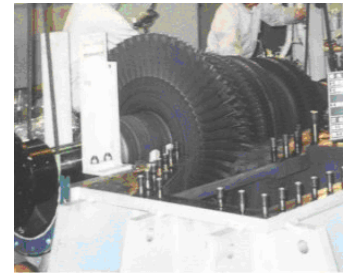


清掃工場展の様子

千歳

清掃工場 蒸気タービンの内部が見えるよ

清掃工場では、ごみを燃やした熱エネルギーで蒸気をつくり、蒸気タービンを回転させて発電し、工場内の電力として利用して、余った電力は電気事業者に売却しています。今年は、蒸気タービンの4年に1度の法令点検の年にあたります。点検では、機器を分解開放（右写真参照）して点検を行い、安全に運転できることを安全管理審査機関で確認し、国に報告します。今後も、安全で安定的な稼働に努めていきます。



分解開放された蒸気タービン

渋谷

清掃工場 スケルトン清掃車

渋谷工場では、小学生の工場見学にスケルトン清掃車を利用しています。スケルトン清掃車は、ごみの投入から排出までの収集車の仕組みを透視することができるので、清掃工場の仕組みだけでなく、収集からのごみ処理の一連の流れについて理解を深めることができます。今後も子どもたちがごみ問題をより深く理解できるよう、見学内容の充実に取り組んでいきます。



スケルトン車に見入る子どもたち

杉並

清掃工場 運転委託等の順調なスタート

杉並工場では、今年4月から焼却炉の運転管理の一部とごみの搬入受付等を委託しました。朝夕の運転引継ぎでは、熱心な意見交換がなされています。また、見学者説明業務も委託し、受託業者は、子どもたちから寄せられる予想外の質問に戸惑うこともあります。子どもたちの興味を引く話し方ができるようになりました。職員と受託者が協力して、工場の安全で安定した操業を目指し、頑張っています。



運転引継ぎの様子